

資料番号	2631-01-001-05	2631-01-001-06	2631-01-002-01	2631-01-002-04
調査年月	2004/7/27	2004/7/27	2004/7/27	2004/7/27
調査者	切畠 健	切畠 健	切畠 健	切畠 健
名称	婦人服地絹布類1937年三冊之内其一	婦人服地絹布類1937年三冊之内其一	婦人服地絹布類1937年三冊之内其一	婦人服地絹布類1937年三冊之内其一
糸	素材 44%VISCOSE 56%ACETATE	55% acetate 15%viscose 30%metal	25% ACETATE 22% COTTON 63% VISCOSE	
	タテ	ゆるくS撚	繡子一緩いS撚り 平S・Zの 交互強撚	無撚
	ヌキ	S・Z撚りが二越づつ交互	S・Z撚りなど2~3本を一越 とする	S・Zの交互 ギン糸-両面平 ギン 別擱みS撚強撚
色	地色 黒	青緑	濃紺	ピンク
	染顔料			
	タテ	青緑	濃紺	ピンク
	ヌキ	白	濃紺	ピンク
加工技法	織技法	繡子組織の裏表 現状では 繡子地タテ(青緑)文様を裏 繡子で表す	繡子組織(5枚繡子)と平組 織を縮状に並べる	地は所謂一越チリメンで全 越に銀糸を織り入れて文様 部分を繡子と手で二重織り 風に盛り上げている
	染技法			
	その他			A・Bは同文様でBはシル エット
文様	輪つなぎ	童話模様(子供、猫、小花な ど)	縞 シュス1.7 平7.0	紋入り石畳、石畳-3.0×2.0
形状	長方形裂 7.1×12.8	方形裂 13.7×10.3(フチ 共)	長方形裂 7.7×6.9(フチ共)	方形裂 7.2×7.5(フチ共)
用途	婦人服地	婦人服地	婦人服地	婦人服地
特記事項	貼紙あり 44%viscose 56%acetate	上記のようにヌキ糸の扱い が大変特色がある。銀糸は 文様のみならず組織に加 わっている。タテ繡子の部 分にも銀糸の効果が上々で ある。すなわち全体にギン の面白さが見える。	1937とある。全体としては薄 物の印象か。透ける部分 (平組織)は繡子で詰まった 感の部分より少ないが、し かし全体としては、薄く透け た効果が特色の裂地と思わ れる。	ピンク地で、銀糸の効果が 生かされ、さらに浮き上が る様に特殊な組織による紋 様に表現する。石畳の中には 猫の姿が見出される。
調査所見		文様も楽しく童話の趣があ る。しかも大人の文様として 大変洒落てる。		一見すると、複雑には見え ないが、変化にとんだ趣が 特色となる。
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦	71	117	77
	横	128	103	69
	織耳			
備考		裂に貼紙註記がつけられて いる。素材を示している。 55% acetate 15%viscose 30%metal	裂に貼紙注記があり素材を 示している。25% ACETATE 22% COTTON 63% VISCOSE	裂に貼紙の注記があり素材 を示している 56% ACETATE 25% VISCOSE 19% METAL(銀糸)

資料番号	2631-01-002-04	2631-01-002-05	2631-01-002-06
調査年月	2004/7/12	2004/7/12	2004/8/3
調査者	尾形 充彦	尾形 充彦	切畠 健
名称	婦人服地絹布類	機械標本第2631第10類A婦人服地絹布類	婦人服地絹布類1937三冊之内其一
糸	素材	金糸風の緯糸:METAL(?),他の経・緯糸:	人絹・銀平巻糸
	タテ	金糸風の緯糸:METAL(?),アセテートビスコース	人絹
	ヌキ	アセテートビスコース	銀平巻糸
色	地色	ピンク色	地:深緑 文様:白・黄緑・赤・深緑
	染顔料		
	タテ	ピンク色	白
	ヌキ	金糸風の糸	白・黄緑・朱
加工技法	織技法	下層が金糸風の糸を織り込んでいる平組織、上層がまだらに歪めた形に出した平組織(部分によっては糸が緩んでいる、膨らんでいる)	綾地の浮紋綾
	染技法	化学纖維をピンク色に染めている	経糸は深緑、緯糸は白・黄緑・朱でいづれも先染め。撚りは殆ど無いように見える
	その他	金糸風の糸は、平たいが、細いテープ状のものを○○○○のように斜めにまだらの大理石風の縦縞模様	主副の文様はなく格子動物 文彙になっている。経糸は0.15~0.2mm緯糸は0.25~mmに見える。
文様		格子状の堺線の区域の中に動物文を帯で囲んだ文様を配したもの	環に花葉文様
形状	7~8cmの四方の四角形	長方形	長方形
用途	婦人服地	婦人服地	婦人服地
特記事項	金糸風の糸は平たいが細いテープ状のものをこのように斜めに	中に動物らしい形態を表した帯を角の大きい鹿の周囲にめぐらして四角く作っているが、正倉院の動物彙文風である。ただ鹿文がアスター出土のペルシャ風文様の錦の様である。地を区分4する格子紋の矢バス風又または三角と菱型を連ねた幾何学風の文様は正倉院ではある。	緯の銀糸には興味が惹かれる。1/4mmの太さにZで平たく巻いている。他の部分の4本入りの筋目風4越密着など特色がある。さらに5本入りのタテヅカイがあって5.4.5本となり、5のところでヌキに変化がある。
調査所見	金糸風の糸が入っている層とピンクの糸が全て浮かんでいる層とがあり風通の組織になっている。	古代ペルシャ風の文様をベースに考察された新模様か。	ごく何でもないように見えつつ、大変特色のある織り方である。ヌキの扱いが特殊である。
製作地			
製作年			
織名称			
法量	縦		50
	横		80
	織耳		111
備考		1937年三冊之内其一	

資料番号	2631-01-002-07	2631-01-002-07	2631-01-003-08	2631-01-021-04
調査年月	2004/7/12	2004/7/27	2004/8/3	2004/8/3
調査者	尾形 充彦	切畠 健	切畠 健	切畠 健
名称	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類1937年三冊之内其一	婦人服地絹布類1937三冊之内其一	婦人服地絹布類1937三冊之内其一
糸	素材	人絹	アセテート	人絹
	タテ 絹	殆ど無撚	アセテート無撚	アマクス撚り
	ヌキ レーヨン	S-Sの強撚交互力	アセテート無撚	無撚り
色	地色	地:白 色の縞:赤・黄緑・紫・橙・朱・青・緑(文様は長斑風に織り入れられている)	色縞 現状:赤・緑・紺・黄・赤・萌黄・紫・黄・赤・黄・紫・萌黄・赤など	淡緑
	染顔料			
	タテ	白	白と色とをヤスラダテとする	白
	ヌキ	赤・黄緑・紫・橙・朱・青・緑・白	白	黒と各色(赤・紺・緑・黄・赤・紺・緑・黒)繰り返し 黄緑・黒・紺・赤
加工技法	織技法	経は強撚糸で緯は文様部分のみ裏へ回し、色の縞のところは浮き織り	風通、白・色のヤスラダテ、白ダテと白ヌキの平組織で散らし小文様をあらわす。裏は白地に文様が色変わりで現れている。縞は繩子組織。	平地に文様綾(タテ6枚綾とヌキ6枚綾)
	染技法	先染め色染めは化学染料か		
	その他	経糸は強撚糸で細く見えるが緯糸の白糸と同様の太さのものを撚つたように見える		
文様	七色の縞に花形模様が白抜きで散らしてある	縞に小花散らし 縞は1cmから2mm	四弁花散らし	方形入り円散らし文様
形状	長方形	長方形裂	長方形裂	長方形
用途	婦人服地	婦人服地	婦人服地	婦人服地
特記事項	経糸が強撚糸であるため、緯糸の浮糸を押さえる個所で斜めに歪んでいる	色縞がきわめて鮮烈な色彩であり、配色である。その上に白文様が散っていて効果的である。	文様はタテ・ヌキ綾で、白花と淡緑花の表現とし、さらに平地を効果的に文様の中に加えている	黒地に鮮やかな糸目が大変美しい。小円文様はへんかをつけつつ織表わしている
調査所見	横縞に花形文様が抜いてあり、染め文様風を意識しているように見える。	色彩効果鮮明で白小文様がめざましい	100%アセテートで、素材の特色が覗えて意義である	
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦	50	59	75
	横	80	82	128
	織耳			96
備考	1937年三冊之内其一		裂に貼紙注記がつけられている(100% ACETATE)。素材明示	

資料番号	2631-01-015-03	2631-01-015-04	2631-02-001-08	2631-02-002-05	2631-02-004-04
調査年月	2004/8/3	2004/8/3	2004/7/27	2004/7/27	2004/7/27
調査者	切畠 健	切畠 健	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	婦人服地絹布類1937 三冊之内其一	婦人服地絹布類1937 三冊之内其一	絹婦人服地	絹婦人服地	絹婦人服地
糸	素材	人絹	人絹		
	タテ		絹,金箔糸	絹,先染糸	絹およびレーヨン
	ヌキ		絹	絹,先染糸	絹およびレーヨン丸撚 金糸
色	地色		ピンク	エンジ色	地部:黒、柄部:ベー ジュ
	染顔料	COLORIS POUR LE SOIR	COLORIS POUR LE SOIR		
	タテ			エンジ色	
	ヌキ			エンジ色	
加工 技法	織 技法	裂はいすれもチリメン 風、ヌキに強撚あり、2 越チリメン	裂はいすれもチリメン 風、ヌキに強撚あり、3 越チリメン	経糸は絹平糸および 金箔糸、緯糸は絹強 撚糸および絹平糸を 用い、紋織りにより柄 表現	経糸は強撚諸糸を用 いた変化平織組織で 製織
	染技法		ピンク色の先染	先染め	先染め
	その他				
文様			不定形浮き出し柄	穴あきが中心から次 第に大きくあけられた 渦巻様で柄を表現	唐草様柄
形状	斜形の黒台紙に小裂 地の染見本が貼りこ まれている	斜形の黒台紙に小裂 地の染見本が貼りこ まれている			
用途			婦人用外衣服地	婦人用外衣服地	絹婦人用外衣
特記事項	この資料は色とその 色名の見本となる貴 重なものである。一応 色名だけを裏面に記 しておく。上記の色の欄 の仏語は(4)に記さ れているが同類であ る。ここに記した。	これは色とその色名 の見本で、当時の色 に対する感覚が特殊 な色名にうかがえて 貴重である。一応色 名だけを裏面に記し ておく。	緯糸の強撚による収 縮性を生かし緯糸の 平糸が弛み肉厚感を 紋柄で強調している	穴の部分のほつれ防 止のために、ミシン刺 繡と考えられる手法で かがってある。穴の大 小をかがるのは極め て複雑な操作を必要 としている。エンブロイ ダー加工によるもの?	二重組織の織物を後 加工によってふくれ効 果を表現し、肉厚な外 観を呈す。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	2631-02-006-03	2631-02-011-05	2631-02-023-04	2631-02-028-04	2631-03-002-02
調査年月	2004/7/27	2004/7/12	2004/7/12	2004/7/12	2004/7/12
調査者	川口 浩	行松 啓子	行松 啓子	行松 啓子	森 克巳
名称	絹婦人服地	婦人服地 絹布類	婦人服地 絹布類	婦人服地 絹布類	婦人服地 絹布類
糸	素材	絹		絹	絹
	タテ	絹	絹:レーヨン		
	ヌキ	絹および丸撲扁平金糸	絹		
	地色	黒の地部に黒・赤・緑	紺	黒	表:黒地、裏:ピンク地 青緑地
色	染顔料				
	タテ				
	ヌキ				
	織技法	二重織	経・緯糸共に強撲糸を用いたジョーゼットにレーヨンのパイルで柄を作っている	経二重織。緯糸に強撲の糸を使い、後処理をする事により、布に緯方向に縮ませシボをだしている。	綾織
加工技法	染技法				先染
	その他				
文様	絹縞模様	正方形が連なったような地模様	つた模様	表:黒地にピンクの花柄、裏:ピンク地に黒の花柄	格子柄
形状		裂地	裂地	裂地	裂地
用途	絹婦人用ガウン向き?	婦人服	婦人服	婦人服	やや厚手の服地であろう
特記事項	縞柄のうち、丸撲扁平金糸の部分にふくれ効果による立体感のある外観を呈す	表面に強撲糸を経緯に用いて、二重織構造にする事により後面の布が縮んだ様に様になり柄を作り出している。また表面が透けたように見える	ジョーゼット部分は、経糸2本づつ通すことにより布に表状に出している。また柄部分のレーヨンは溶出加工、オパール加工することにより、独特の風合いを出している	単純な経二重織に経糸を無撲、緯糸を強撲糸を使う事によって布表面に面白味をもたらせている。	表面の黒糸がすり切れている。これは意識的にすり切ったと思われるが何にが目的であったか疑問である。黒部の下は綾織でしっかり織られている。格子柄に黒糸でベール状に風通織である。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	2631-03-007-02	2631-03-007-05	2631-03-008-03	2631-03-009-01	2631-03-009-01
調査年月	2004/7/12	2004/7/27	2004/7/12	2004/7/12	2004/7/27
調査者	森 克巳	行松 啓子	森 克巳	森 克巳	行松 啓子
名称	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類
糸	素材	黒:絹、白:?	レーヨン	絹	地部分は絹、緯糸共にレーヨンを用い絹緯糸を織り込んでいる
	タテ		レーヨン		レーヨン
	ヌキ		レーヨン		レーヨンおよび絹
色	地色	白と黒	表:白、黒 裏:白	黒地	黒地にベージュの柄
	染顔料				
	タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法	簡単な畳織である	絹二重織	畳織	二重織
	染技法	特記事項なし		先染	先染
	その他				
文様	網目模様	幾何学模様	横段	菱柄	ひし形模様
形状	裂地	端布	裂地	裂地	端布
用途	シンプルな服地と思われる	婦人服	?		婦人服地
特記事項	2色(白と黒)の糸を使用、黒糸は強撚で畳織であるが、糸の隙間で通気性を作り、白糸はやや太い糸にて昼夜風に作られている。	絹・緯糸共にレーヨン糸を用い、二重織りの変化により、表面をツイード風に見せていく。	特殊な飾撚糸を白色と黒糸を合わせて織り込んだ大変楽しいものである	黒と白を使って巧みに織工夫されたものである。白の緯糸に太い綿(一部シルクも含むか?)糸を数越ごとに織られているがこれが全体のボリューム感を出している。	単純な二重織りに表面に、絹糸を織り込む事により、風合いに重みを出している。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	2631-03-008-03	2631-03-009-01	2631-03-009-01	2631-03-009-04	2631-03-011-08
調査年月	2004/7/12	2004/7/12	2004/7/27	2004/7/12	2004/7/12
調査者	森 克巳	森 克巳	行松 啓子	森 克巳	森 克巳
名称	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類	婦人服地絹布類
糸	素材	絹	絹、綿、アセテート	地部分は絹、緯糸共にレーヨンを用い絹緯糸を織り込んでいる	絹
	タテ			レーヨン	
	ヌキ			レーヨンおよび絹	
色	地色	黒地	白地	黒地にベージュの柄	白地
	染顔料				
	タテ				白
	ヌキ				白、赤、青
加工技法	織技法	畳織	畳織	二重織	畳織
	染技法	先染	先染		先染
	その他				
文様	横段	菱柄	ひし形模様	段	
形状	裂地	裂地	端布	裂地	裂地
用途	?		婦人服地		
特記事項	特殊な飾撚糸を白色と黒糸を合わせて織り込んだ大変楽しいものである	黒と白を使って巧みに織工夫されたものである。白の緯糸に太い綿(一部シルクも含むか?)糸を数越ごとに織られているがこれが全体のボリューム感を出している。	単純な二重織りに表面に、絹糸を織り込む事により、風合いに重みを出している。	強撚糸を緯糸に使ってジジラ風の地を作り、特殊な太い飾撚糸した糸(白、赤、青)を大胆に織り込んだものでこの3色の飾撚糸がボリューム感を出しているが全体はさわやかに出来ている。	畳と変り斜子を使って隙間をつくり涼感を出している。緯糸は強撚糸されたZ-S撚をZ-Z-S-Sとの順に織り込んで生地にシャリ味を出している。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					